

第 3 期社会実験運行

1. 第 3 期社会実験運行のイメージ

(1) 運行概要

運行期間：令和 5 年 6 月から半年間（予定）

運行区域：大藤・栄南を主とした周辺の指定エリア

車両台数：1 台

運行時間：午前 9 時から午後 4 時

運賃：300 円～500 円の一律料金を想定

◆既存の路線型運行を維持

◆日中の時間帯にデマンド運行を導入

⇒現在のきんちゃんバスの利用者の 8 割程度が高齢者であることを踏まえると、突然デマンド運行といった、これまでと全く利用方法の異なる公共交通を導入しても、利用を敬遠されてしまう懸念あり。

⇒また、南部ルートは朝夕の通勤・通学に対応する必要がある。

⇒そこで、既存の路線型運行を維持しつつ、お住まいがバス停まで遠いかたの買い物、通院、公共施設利用等の需要に対応する運行として、デマンド運行を知っていただき、利用体験を通じて、地域の方々に評価していただく機会として社会実験運行を実施する。

⇒社会実験運行期間は既存のきんちゃんバス路線を残し、本格運行開始後、日中はデマンド運行、朝夕はきんちゃんバスとする予定である。

【デマンド運行の想定】

◆週 2 回の運行（固定曜日）

◆大藤・栄南の南部地域と中心部地域に区分

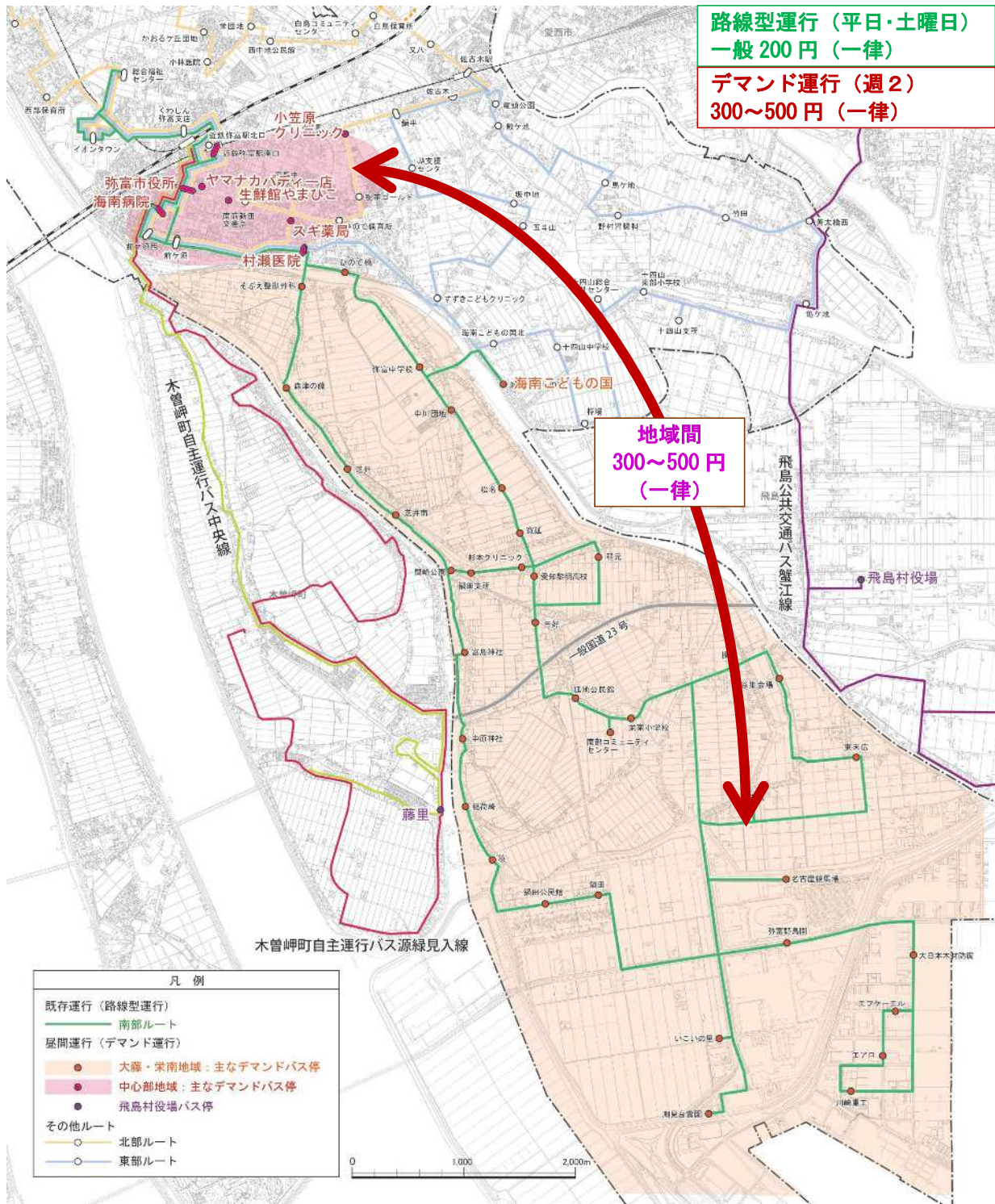
◆南部地域に住宅地停留所、中心部地域に目的地停留所を設置（子ども連れのかたなども利用しやすいように海南こどもの国バス停を南部地域エリアとみなす）

◆中心部地域（目的地停留所）から中心部地域（目的地停留所）への乗降不可

◆利用者の制限なし（地域外のかたでもいこいの里等の利用を促す）

◆第3期社会実験運行のイメージ

既存の路線型運行バスを残し、デマンド中心の運行



2. 第3期社会実験運行で実証する項目

第3期社会実験運行では、以下に示す目標指標によって実験運行評価を行う。

また、社会実験運行中は以下の表に示す検証指標について集計し、本格運行に向けた検討材料とする。検証指標については国土交通省の「デマンド型交通の手引き」や他地域の過去のチョイソコ実績を参考にしている。

社会実験運行目標：公共交通利用者数の増加（既存南部ルート＋第3期社会実験運行の利用者数が、実験前の既存南部ルート利用者数よりも増加しているかどうか）
→地域公共交通計画における目標①に対応

表. 第3期社会実験運行で集計する検証項目

検証項目	本格運行に向けた対応・備考
月別停留所別の利用者数（人）	利用の少ないバス停等の見直しを検討
1便当たりの乗降人員（人）	1人に近い場合、タクシーとの差別化ができていないため、運行方法等の見直しを検討
1人当たりの運行費用（円）	協賛金の必要性等を検討
実利用者数（人）	運行方法のほか、運賃や新規利用者獲得のための周知・利用促進策を検討
会員登録者数（人）	
1日当たりの予約件数（件）	
1日当たりの予約不成立件数（件）	車両台数や運行エリア等、運行方法の検討

3. 株式会社アイシン、運行事業者、弥富市の役割

第3期社会実験運行に向けて、公募型プロポーザルにより企画提案を募集し運行事業者を選定する。第3回協議会にて次年度予算を審議・確定後、プロポーザルを公告開始し、令和5年3月（予定）に運行事業者を選定する。運行事業者選定後の株式会社アイシン、運行事業者、弥富市の役割については以下のとおりである。

表. 株式会社アイシンと弥富市、運行事業者の役割

	株式会社アイシン	運行事業者	弥富市
運行主体	○	○	○
責任主体	—	—	○
役割等	デマンド運行システムの提供、市民情報の管理、オペレーターの配置、乗降停留所の確保・管理、会員登録状況数等のデータ集計・報告等	チョイソコの運行、運行計画の策定、運賃等の収受、運賃データ等の集計、車両の定期点検及び予備車両の用意、乗客の安全確保等	市民ニーズの把握・影響分析、関係者調整、事業の地域への周知、地域協力事業者への交渉、運行費の一部負担等

4. デマンド運行に関する地域説明会のスケジュール

デマンド運行導入に関する地域説明会を大藤・栄南学区の各字単位で実施した。地域説明会ではチヨイソコの説明と利用の仕方や注意事項、検討を要する点等の説明をし、地域の方から多くの意見・要望をいただいた。地域説明会の開催概要や主な意見・要望等は以下のとおりである。

表. 各字単位の地域説明会の開催概要

地区名	開催日時	開催場所	参加人数	主な意見等
稲荷	9/4 (日) PM1:30	稲荷公民館	10 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ デマンド運行のターゲット ・ 運行学区、運行日程 ・ 車いすでの乗車の有無 ・ 会員登録、年齢制限 ・ 予約の仕方・手続き ・ 料金や支払い方法 ・ きんちゃんバスの運行 ・ 停留所の位置 ・ 利用者促進への取り組み ・ 弥富市外への利用 ・ 中心部エリア間の移動 ・ 荷物が積めるかどうか ・ 車両数 ・ 電車との乗り継ぎ ・ 熱症状がある方の対応 ・ 現行のタクシー券 ・ 回数券 ・ 買い物支援サービスとの差異
中川団地	9/4 (日) PM7:00	中川団地コミュニティセンター	25 人	
芝井 ふれあい サロン	9/7 (水) AM9:30	芝井公民館	24 人	
操出	9/10 (土) PM2:00	操出公民館	15 人	
鎌島	9/10 (土) PM7:00	鎌島公民館	20 人	
中原	9/10 (土) PM7:00	中原公民館	11 人	
稲元・寛延 合同	9/11 (日) AM9:00	農村環境改善センター	35 人	
西末広 (東末広)	9/13 (火) PM7:00	西末広公民館	25 人	
鍋田	9/17 (土) PM7:30	鍋田公民館	18 人	
森津	9/18 (日) AM9:00	森津公民館	19 人	
芝井	9/18 (日) PM7:00	芝井公民館	25 人	
大谷	9/24 (土) PM4:00	大谷集会所	14 人	
松名	9/25 (日) AM10:00	松名公民館	16 人	
三好	10/2 (日) AM8:00	三好公民館	15 人	
富島	10/9 (日) PM1:30	富島公民館	12 人	

※デマンド運行に関する地域説明会の資料は参考資料 1 参照

また、学区別のデマンド型乗合タクシー導入の検討会を以下の流れで行う予定である。学区別のデマンド型乗合タクシー導入の検討会では、予約方法や乗車方法等の詳細な説明など、具体的な周知を実施する。

表. 学区別のデマンド型乗合タクシー導入の検討会までのスケジュール

日 程	内 容
2022 年 12 月	第 3 期社会実験運行の停留所を確定
2022 年 12 月中旬以降	学区別（大藤学区・栄南学区）の交通防災部会にて、デマンド型乗合タクシー導入の検討会を実施

5. 第3期社会実験運行開始までのスケジュール

第3期社会実験運行開始までの全体的なスケジュールは、以下のとおりである。令和4年12月19日に予定の第3回協議会にて、次年度予算を審議・確定する。その後の運行事業者選定公募型プロポーザルを経て、令和5年度6月から開始する予定である。

表. 第3期社会実験運行開始までの全体的なスケジュール

検討項目	実施スケジュール(年度)																	
	R3年度			R4年度									R5年度					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6~
地元調整																		
学区別デマンド型乗合タクシー導入案の検討会・意見交換会					→													
各地区におけるデマンド型乗合タクシーの概要説明と乗降車ポイントや目的地の検討					↑				→									
学区別デマンド型乗合タクシー導入の検討会											→							
各地区におけるデマンド型乗合タクシーについて、予約方法、乗車方法等の詳細説明会												→						
周辺自治体等関係機関調整	--- 適宜調整 ---																	
運行方法検討	—————																	
運行事業者選定																	→	
周知活動																	→	
協議会			→			→					→	→				→		
運行許可等申請																	→	
社会実験運行	第1期			第2期						第3期								
運行評価	→			→						→								